

「テレビ・新聞報道のおモテとウラ」配布メモ

近藤 昭二

I・誤報の例＝読売新聞「iPS 心筋を移植」の記事——のちの検証  
で判明した取材経緯のおソマツ

II・ニュースの発生・端緒はどのようにキャッチされるか

※ 記者クラブ「七社会」とテレビ記者会の存在と是非

※ 官製報道＝「お上の垂れ流し」

「ぶらさがり」「メモ合わせ」で情報共有の横並び体制——

ニュースの読み方

III・「M少年連続幼女誘拐殺人事件」の虚報——スジ読み記事 出入  
り差し止めの例

IV・取材合戦の実状

※ 「特落ち」が最大の恥

「夜討ち・朝駆け」

各社「早刷りの交換」という悪弊

※「事件の大阪社会部」

V※ 冤罪事件の報道被害——

※「東電OL殺人事件」

※ 朝日のスクープがきっかけとなった「和歌山毒入りカレー  
事件」の過熱報道

※ マスコミ向けのイベントとなった「ロス疑惑」の容疑者逮  
捕

VI・官庁の事実隠蔽——府中3億円強奪事件で隠されたトンデモナ  
イ事実

※ 事件の特殊性と時代背景——遺留品の多さと大量生産・消  
費社会

※有望視された証拠品——トランジスタメガホン

※特定された紙片の出所 配布の範囲

VII・ ヘルメットをかぶったモンタージュの手配写真はモンタージュ  
ではない！

実在のその人物は何者なのか

※ 脅迫状の捜査から事件直後に容疑者として浮かんだ少年  
の不審な死

※銀行員による面通し

※ 現金強奪計画をめぐる少年の容疑

※ 「5グラムの土」の捜査

※ 特命捜査班の動きと時効直前の捜査

※身代わり写真の登場

(時間があれば——VIII・質疑応答)